

木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」と「第2期総合戦略」【概要版】

人口ビジョン(中長期展望)

<目標人口>

人口減少に対する戦略を講じなければ、本市の人口は、2030年の83,000人をピークに2040年に81,000人まで減少する。

合計特殊出生率※を2030年までに1.8、2040年までに2.1へと上昇させ、
2030年に84,700人、
2040年に84,800人、
2060年に81,200人の人口規模を目指す

※
・合計特殊出生率：1.54 (H26,木津川市)
一人の女性が一生の間に生む子どもの数

・国民の希望出生率：1.8
夫婦の意向や独身者の結婚希望等から算出

・人口置換基準：2.1
人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率の水準

戦略の柱

『子育て』

戦略スローガン

子ども育マチ・きづがわいい

〈姿勢1〉
誰もが「住みたい」
と思えるまち

〈姿勢2〉
誰もが「住み続けたい」
と思えるまち

〈姿勢3〉
誰もが「住んでよかった」
と思えるまち

総合戦略(2020(R2)～2024(R6)年度の5年間)

<基本目標>

(2024(R6)年度の成果指標)

学研都市としての特性を活かした産業の活性化、企業誘致・立地による雇用と就業の創出

- 生産年齢人口
46,180人(R1)→48,500人(R6)
- 新規就農者数
12人(H30)→15人(R6)

「交流人口」「関係人口」の増加、地域住民による「地域活性化・観光」の展開

- ふるさと納税延べ件数
484件(H30)→844件(R6)
- 観光入込客数
965,000人(H30)→1,013,250人(R6)
- 観光消費額
21億1,000万円(H30)→22億1,550万円(R6)

「子育て支援No.1」を目指した
施策の充実

- 合計特殊出生率
1.54 (H26)→1.8 (R6)
- 年少人口(15歳未満)
13,075人(R1)→13,663人(R6)

小さな拠点を活用した誰もが活躍できる
個性と魅力あふれる地域コミュニティの充実

- 市外からの滞在人口数
54,968人/日(H30)→57,716人(R6)

地元教育機関や企業との連携による
まちの活性化

- 京都大学大学院農学研究科附属農場等との連携事業数
0件(H30)→1件(R6)

まちづくりに取り組む、
取り組もうとする人材の支援・創出

- マチオモイな仲間たち(農で頑張る協議会)
89人(H30)→100人(R6)
- まちへの愛着度
72.5%(H30)→75.0%(R6)

<特に子育てに関する施策目標・成果指標>
(子育て未来—KPI) ☆木津川市独自指標

企業などが取り組む子育てイベントに対する支援や、学校給食における安心安全な地域農産物の提供に重点的に取り組みます。

- 子育てイベント延べ参加者数(学研関連)
2,458人(H30)→3,000人(R6)

子どもたちが、まちへの愛着を深めることができる本市の歴史文化遺産を活用した学習プログラム、里地里山を活用した多世代間交流の促進などに重点的に取り組みます。

- 地域連携保全活動応援団活動延べ参加者数
0人(H30)→50人(R6)

すべての子育て世代が、安心して子どもを産み育てることができるとともに、子ども自身が未来に向かってはばたくことができるような「子育て支援No.1」施策の充実、「Society5.0」「SDGs」などの新しい時代の流れを力にした「子育て・子育て」のまちづくりに取り組みます。

- 学校に行くのが楽しいと感じる小学生の割合
81.0%(R1)→83.0%(R6)
- 学校に行くのが楽しいと感じる中学生の割合
82.9%(R1)→84.0%(R6)

地域で暮らす人々が、地域活動を楽しみ、また子育て世代が子どもたちとともに地域と繋がるよう、小さな拠点(多世代交流・多機能型)づくりや、安心・安全な地域づくりに重点的に取り組みます。

- 「通勤・通学の交通の便利さ」に対する満足度
31.9%(H30)→35.0%(R6)

子どもたちが、興味を持ち楽しめる講座や体験学習会のプログラムを通して、最先端の科学技術に対する知識を身につけるとともに、地域の特色・文化等を学び、大人になっても木津川市に住みたいと思ってもらえるよう、まちへの愛着・U/Iターン意向の醸成に重点的に取り組みます。

- 中学生しごと・職場体験受入事業所数
205事業所(R1)→230事業所(R6)

まちを担う若い世代や子どもが楽しみながら参加できるまちづくりを通して、マチオモイの意識を醸成するとともに、社会のグローバル化等に対応した、国際感覚を持った人材の育成に取り組みます。

- 中学生アンケートにおける住みよさ満足度
77.0%(H29)→80.0%(R6)
- 中学生アンケートにおける定住意向率
40.4%(H29)→45.0%(R6)

<主な重要業績評価指標>
(KPI)

- 新規事業場設置支援延べ件数
0件(R1)→6件(R6)

- 農林産物直売所等件数
12箇所(H30)→15箇所(R6)

- 市内事業所数
1,878事業所(H30)→1,950事業所(R6)

- 文化財出前講座延べ参加者数
950人(R1)→1,000人(R6)

- 多言語対応新規取組件数
0件(H30)→5件(R6)

- 山城町森林公園延べ利用者数
27,179人(H30)→31,000人(R6)

- つどいのひろば利用者数
19,498人(H30)→21,000人(R6)

- 待機児童数(0人を継続)
0人(H31)→0人(R6)

- 小中学校タブレット導入率
0%(R1)→100%(R6)

- 公共交通利用者数
1370万人(H30)→1,400万人(R6)

- 当尾クリエーションプロジェクト延べ参加者数
0人(R1)→500人(R6)

- 防災士資格取得人数
0人(H30)→120人(R6)

- 京都大学大学院農学研究科附属農場オープンファーム参加者数
868人(R1)→1,000人(R6)

- 大学生インターンシップ受入者数
3人(R1)→4人(R6)

- 木津川アート来場者数
11,872人(H30)→12,000人(R6)

- 空き家バンク延べ成立件数
6件(H30)→12件(R6)